

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～18.5℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケの日が多く、出漁日数は少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバが1日1統当たり0.1トンの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり36kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.3トンの水揚げで、前週の3.1倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり76kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり36kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり142kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり69kgの水揚げで、前週の45%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の74%（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/30日～4/3日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚げ休漁となった。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」

漁海況の情報は、「漁海況情報」から「漁海況週報」、「漁海況通信」でご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>